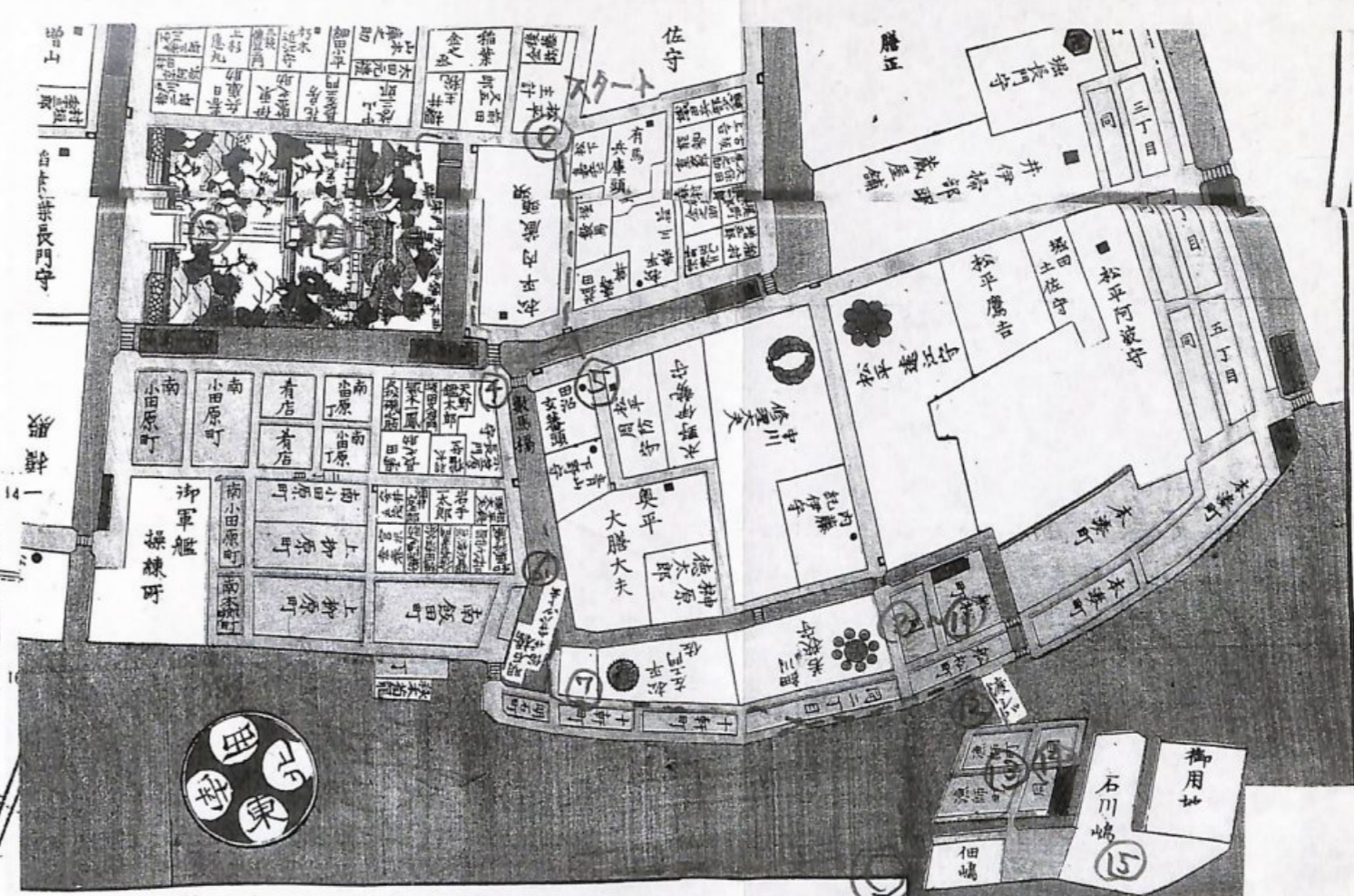
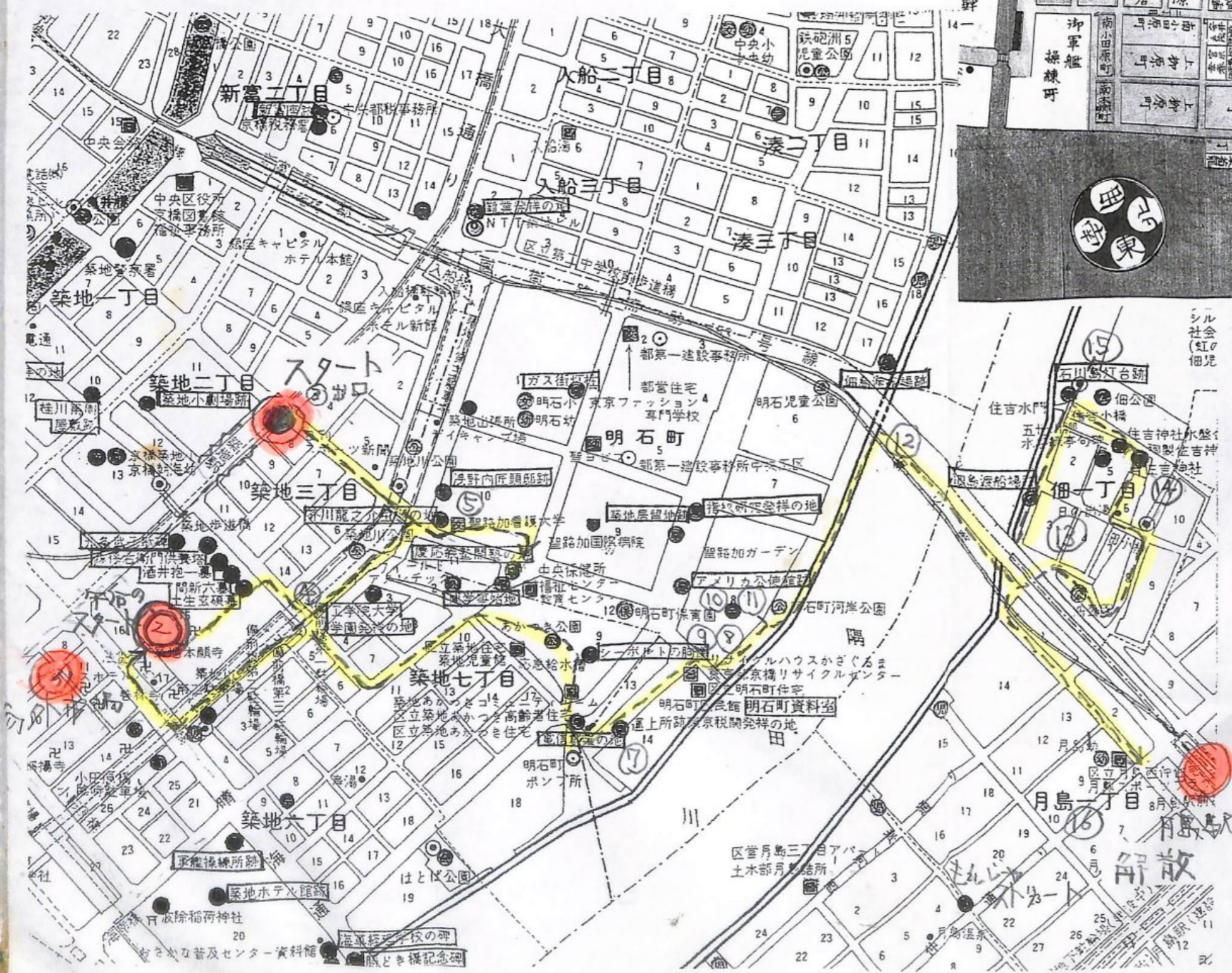


17. 9

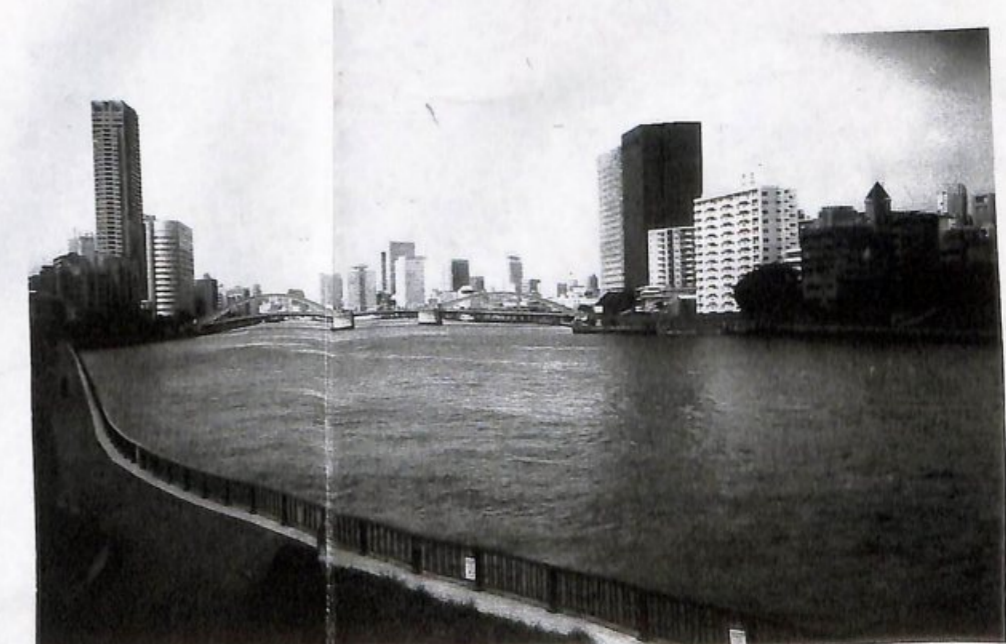
城史跡OB会<築地、明石町と佃島を歩く>

平成17年9月27日(火曜日)

2



幕末期の切絵図



隅田川をカド中橋方面より見る

「築地歴史館」明石資料館

現在図の周辺に史跡

日時=平成17年9月27日(火曜日=予備日30日)最初の乗車券820円八丁堀まで

往路=八幡宿8時09分(各駅)蘇我19分着、29分または39分(京葉快速前の方)、八丁堀9時17分着(日比谷線乗り換え1駅)築地9時40分ころ着

解散=月島駅前(16時00分ころ) 月島駅 3番出口
復路=月島(有楽町線3駅)新木場、蘇我、八幡。または徒歩15分京葉線八丁堀乗車

ご案内=山岸弘明

1) はじめに=地名の由来から

- ①築地=後出。埋め立て地
- ②明石町=明石の漁師が移住、明石の浦に似るとも
- ③佃島=後出。佃村出身の漁師町
- ④石川島=江戸はじめ石川八左衛門の流罪地
- ⑤月島=埋め立て島、築島がなまる

2) 築地本願寺(中央区築地3=自由参拝)

- ①築地本願寺築地別院=浄土真宗本願寺派、西本願寺別院。別院は寺の格式で支店、支社にあたる江戸御坊と通称、江戸屈指の名刹
- ②元和7年東日本橋に創建、明暦大火焼失後、幕命で海岸の砂浜だった現在地に移転。信徒が埋め立てたので築地の語源になる。
- ③現在地は本堂跡地で場外市場周辺に墓地、末寺がおかれた。壮大な七堂伽藍を構えたが明治5年、27年大正12年などに焼失、現在の建物は昭和10年伊東忠太設計、鉄筋コンクリート地上2階、地下1階、外観は古代インド様式。墓地は杉並区の和田堀廟所に移転。
- ④赤穂浪士間新六の墓=元禄15年12月14日父嘉兵衛、兄十二郎とともに吉良邸に討ち入り、切腹後義姉が遺骸を引き取って本願寺に埋葬。泉岳寺には新六と寺坂吉右衛門の2人の骨はない。
- ⑤酒井抱一、土生玄碩の墓=江戸後期の絵師と将軍家眼科医

3) 築地場外市場(築地4=自由昼食)

- ①都民の台所、中央卸売市場に隣接した仲売り、小売り店群。安く新鮮で有名。
- ②小さな食堂やすし屋がぎっしり。すしかまぐろ丼がおすすめ。
- ③弁当持参者は築地本願寺境内または地下1階などで。



築地本願寺



築地川公園



間新六の墓



土生玄碩の墓

築地場外市場



← 聖路加病院



シーボルト像



← 浅野邸

↓ 運上所跡

トリスー記念館



度六の所

4) 築地川公園、掘割跡(築地、明石町の境界)

- ①備前橋=直前の備前岡山藩松平池田31万石中屋敷に由来。備前藩近くの橋という意味。川の両側に橋台を作り、真ん中に木の橋をかけた。明治の石橋を保存。
- ②築地川公園=江戸時代の川で掘割跡。江戸は縦横に巡らせた掘割による水運が開けた。荷物は船で移動。掘割幅、両側の道、荷揚げ場などが地形が窺わせる。
- ③築地居留地解説板。一帯は明治維新後の外国人居留地。明治の錦絵、第一銀行、築地ホテル館などを描く。

5) 聖路加看護大学、聖路加国際病院(明石町)

- ①浅野内匠頭上屋敷跡=元禄赤穂浪士事件発端の地。赤穂5万3千石浅野長矩上屋敷跡。元禄14年3月14日早朝この屋敷から江戸城に登城した長矩は殿中松の大廊下において高家筆頭吉良上野介に刃傷、即日新橋の田村右京大夫邸において切腹、お家断絶となる。第1報は弟浅野大学から、大混乱のうちに屋敷の引き渡し終わる。
- ②芥川龍之助生誕地=明治25年、牛乳牧舎を営む新原敏三長男として誕生。母の実家芥川家に養子、代表作は「羅生門」「鼻」。大名屋敷が牧場に。混乱した世相も歴史を知るうえで楽しい。
- ③聖路加看護大学、聖路加国際病院
- ④明治の移築牧師邸、慶応義塾開設の地、蘭学ことはじめの碑

6) あかつき公園(船溜跡)、シーボルト胸像(築地7)

- ①舟溜まり跡=江戸湾の船溜まり。港。荷揚げ場
- ②シーボルト=ドイツ人。江戸後期にオランダ商館医師として長崎に着任、多くの日本人蘭学者を育てた。文政12年シーボルト事件のため国外追放、安政5年解除され再び来日、文久2年まで滞在した。
- ③周辺に築地カトリック教会、ガス灯柱、島会所跡などの史跡があるが時間の都合で省略します。

7) 東京運上所跡、税関発祥の地(明石町)

- ①幕末、築地居留地開設準備のために設置された外国事務局跡、明治元年新政府は運上所と改め税関事務を担当、5年開市場裁判所と変わり外国人の訴訟事務を行った。
- ②明治2年運上所と横浜裁判所間に電線を架設、電信業務を開始、<電信創業の地>でも。
- ③跡地はしゃぶしゃぶ高級料亭治作。昔ながらの料亭の雰囲気漂わせている。

文明開化130年 築地居留地展



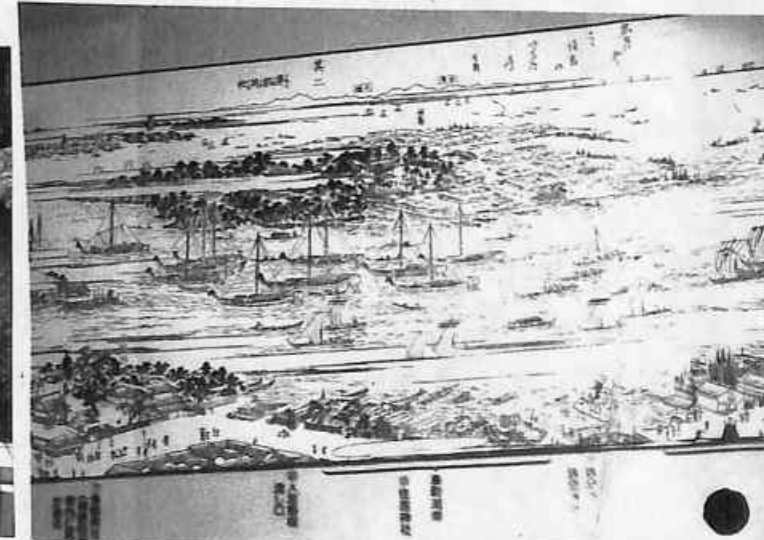
明石町区民会館



日本最初の西洋式地図
明治10年代の居留地周辺図

- 8) 明石町河岸公園 (休憩=20分間の予定)
 - ① 隅田川沿いの公園で川辺の景観を見ながら休憩
 - ② 元気な方はとなりの築地居留地資料展へどうぞ
- 9) 明石町区民会館「築地居留地資料展」(自由見学)
 - ① 居留地は外国人の自由居住を許さず、条約によって貿易と居住のために開放した特定の地域をいう。
 - ② 安政5年幕府は日米通商条約などを締結、明治元年新政府は築地の旧大名屋敷街、海辺町家を居留地とした。その範囲は明石町①~⑫番地、湊3-⑨~⑬番地だが、八丁堀まで相対貸地が認められ、南の軍艦奉行跡地は築地ホテル館、新富町に新島原遊廓が誕生した。
 - ③ 区民館で築地居留地の資料多数を展示している。
- 10) アメリカ公使館跡
 - ① アメリカ公使館=幕末安政6年、ハリスが麻布善福寺に創設、明治8年から23年現在の赤坂大使館移転までのアメリカ公館。跡地は明治42年までメトロポールホテルに。
 - ② 公使館建物にはめ込まれていたとされる花崗岩装飾用材。星と楯を刻む。
- 11) 聖路加タワー展望台
 - ① 隅田川のほとりに立つ最新の高層ビル。地上200m、47階の展望台から隅田川、お台場、レインボーブリッジ、東京湾を遠望。まさに圧巻。
 - ② 隅田川テラスを佃大橋へすすむ。
- 12) 佃の渡しと佃大橋 (明石町と月島、佃1の境界)
 - ① 前面隅田川の対岸は月島(晴海地区)。江戸時代は江戸湾(海)でその一部に佃島と石川島の小島2つがあった。明治に造成され、昭和に完成した東京湾内の新興都市。いま高層ビルが立ち並ぶ。
 - ② 佃の渡し=江戸時代、明石町と佃島を結んだ渡船場。江戸中期の正保2年から佃大橋ができる昭和38年まで。明治9年の渡し賃は5厘、昭和2年東京市営で無料。兩岸に「佃島渡船」碑がある。
 - ③ 佃大橋=昭和36年起工、39年竣工、長さ230m、幅26m。月島側欄干に東京都が作った佃島のレリーフがはめこまれている。

↓アメリカ公使館の遺跡



↑聖路加タワー展望台からの眺望
レインボーブリッジ方面をのぞむ



↑タワーの説明文
おかしな江戸時代
←聖路加タワーの外観

13) 佃島 (佃1)

- ①佃島=大橋左手の佃1丁目が本当の佃島。徳川家康の江戸入府にあたって、摂津の佃村(大阪市西淀川区佃)漁師34人が江戸に迎えられ江戸湾の独占的漁業を許された。正保元年から佃島に家を立てて居住、毎年白魚を献上した。明治維新以降、関東大震災や昭和東京空襲も免れたので古い町並みがほぼ当時の姿を伝えている。
- ②船溜まりと佃小橋=隅田川から西方向、さらに直角に曲がる堀川が船溜まりでよく旧態をとどめている。真ん中あたりに赤い佃小橋、ここから皇居側の北側を上町、南側を下町、海側を向町といって現在でも通用するという。
- ③船宿折本=江戸湾釣り船の拠点港
- ④佃島渡船場跡=佃島児童遊園に渡船碑と句碑
- ⑤佃煮天安本店、田中屋、丸久=天保創業の老舗も。秘伝のタレと砂糖でじっくり煮込む佃煮は絶品。

14) 住吉神社 (自由参拝)

- ①住吉神社=佃島漁師ゆかりの摂津住吉大社から3神を勧請して正保3年創建。漁業、海運関係者などの信仰があつい。銅板葺きのみごとな社殿。大祭は宮出し、船渡して賑わう。
- ②鳥居=1の鳥居は銅板葺き、2の鳥居は珍しい陶製の神額
住吉神社、明治十五午歳六月三十日、一品織仁親王=有栖川宮⑧代書道の名手と伝わる。
- ③水盤舎、銅灯籠、伝東洲齋写楽終焉の地碑(真偽のほどは保証できない)

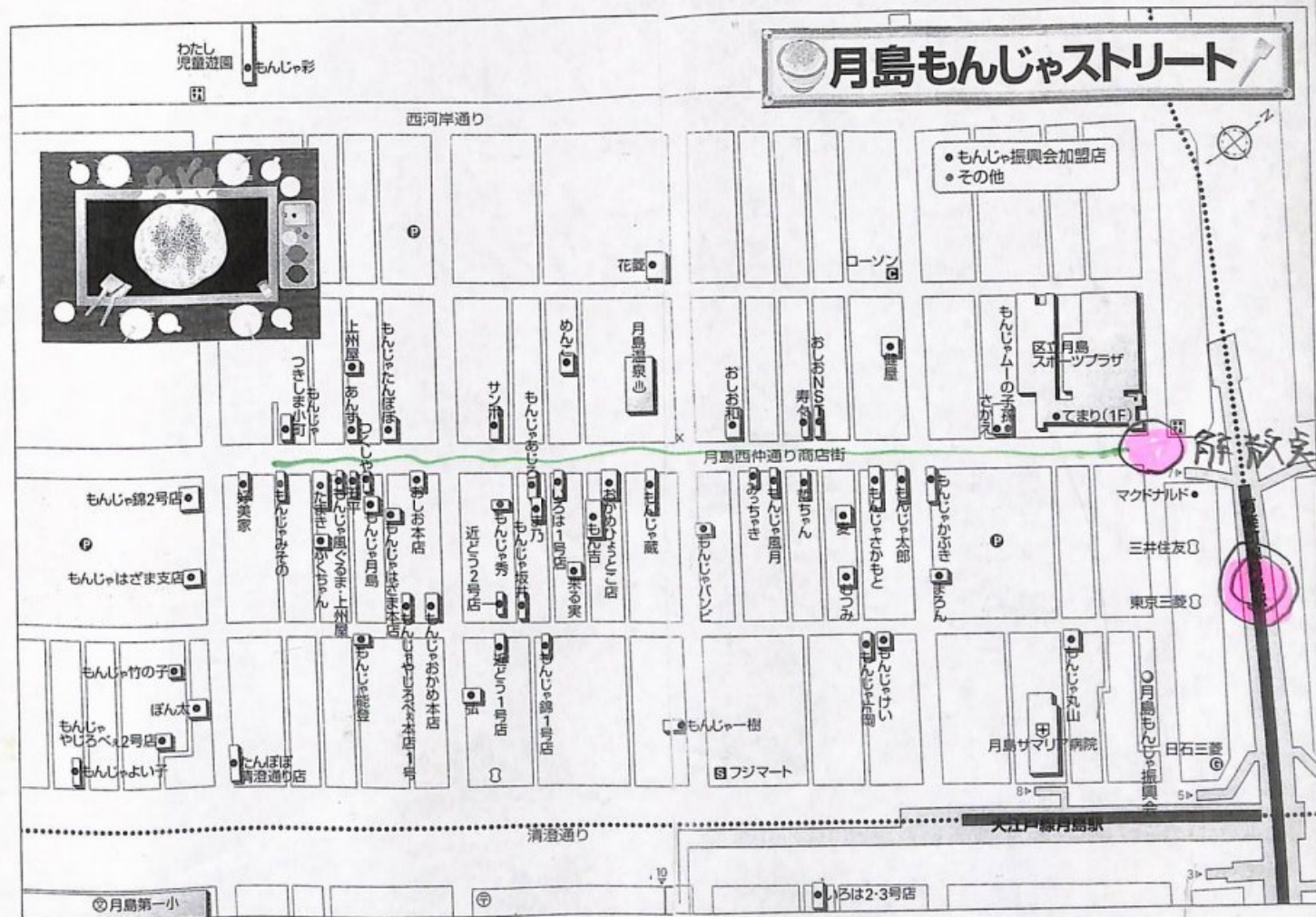
15) 佃公園、石川島人足寄場跡 (佃2)

- ①寛政2年火付け盗賊改め長谷川平蔵の建議により作られた人足寄場、正しくは「加役方人足寄場」。当時の佃島と石川島間のあし沼1万6千坪を埋め立てた。現在の佃小学校、中学校一帯という。
- ②江戸の治安確保のため、一定の住居、職業を持たず戸籍にのらない無宿者を集めて職業訓練を行い、良民とする公設機関。維新後、罪人の拘置所をへて明治20年まで監獄署となった。
- ③佃公園から隅田川、佃大橋方面のながめは抜群、しばし少休憩。
石川島解説看板、石川島灯台を再現した公設トイレ
- ④安政元年石川島に水戸藩の造船所も開設。跡地は大川端リバーシティ21として整備、すっかり様変わりしている。

16) 月島もんじゃストリート (月島1=14時30分ころ解散)

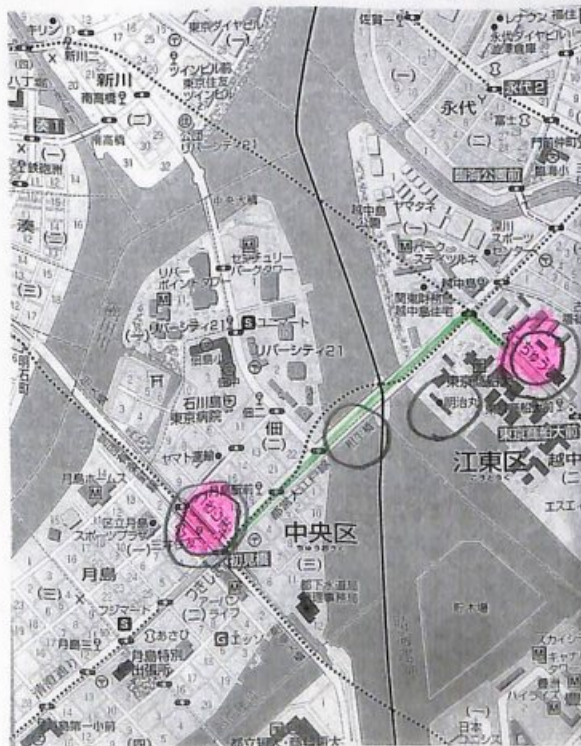
- ①もんじゃストリート=400mほどの商店街に60軒ほどのもんじゃ屋が軒をならべる。そこかしこおいそうなソースの香りが漂う。ここで解散、折角ですからぜひどうぞ。
- ②月島駅が便利=都営大江戸線、営団有楽町線。元気な方なら相生橋を渡れば15分ほどでJR京葉線越中島駅です。

以上



解散点から徒歩15分

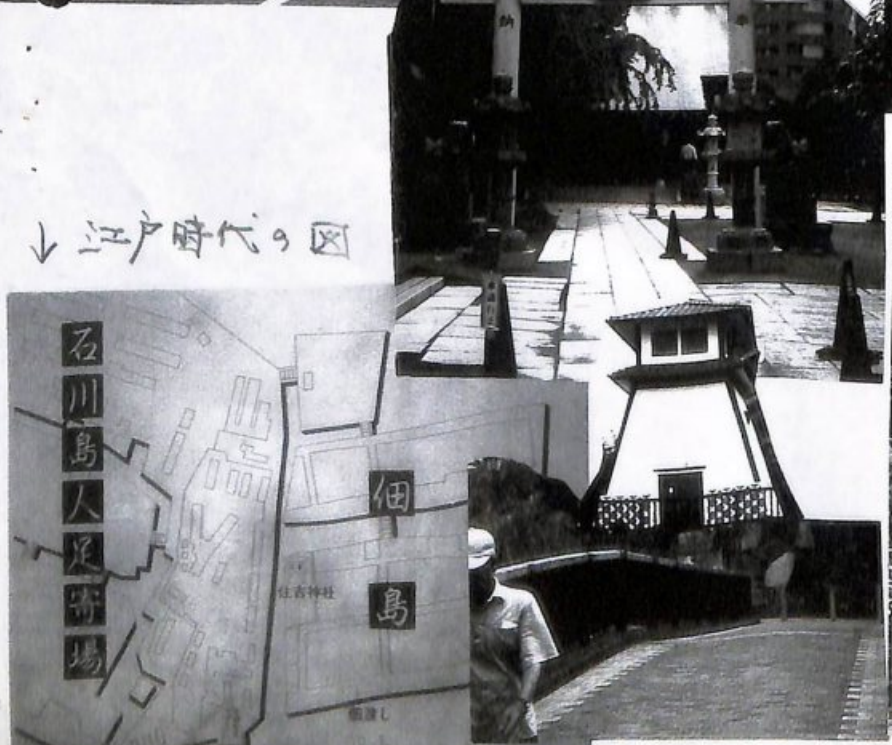
解散点からもんじゃストリート



元気な方は明か丸をみながら越中島へ



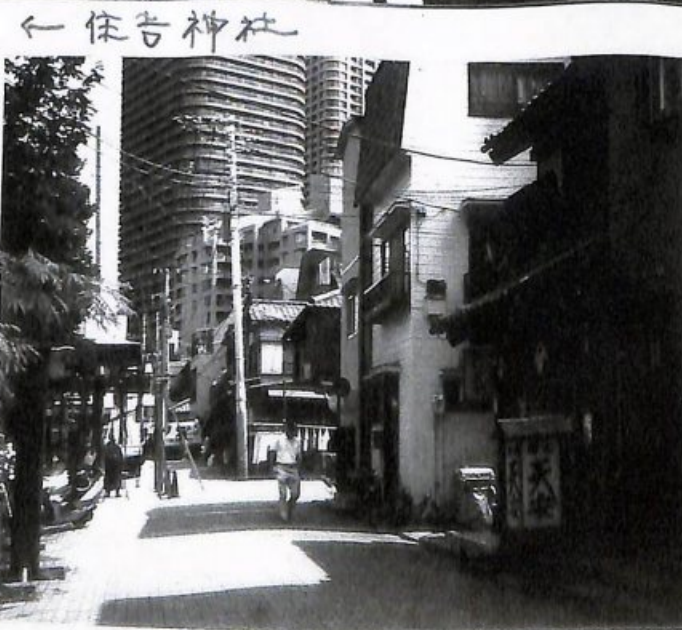
← 佃小橋 →
佃島船だまり



↓ 江戸時代の図



↑ 灯台



↑ 佃島の町並み